

History of The Beatles

Part 1 リバプールから飛び出た4人の若者 世界的な人気に

I Want To Hold Your Hand 他

Part 2 レノン&マッカートニーの世界

Yesterday / Help! 他

Part 3 ライブへの疲れ、内省的世界、スタジオワークの時代へ

Strawberry fields forever / Lady Madonna 他

Part 4 個性のぶつかりそれぞれの道へ

Let it be 他

※演奏曲は変更になる可能性があります

1962

年10月5日、デビューシングル「ラブ・ミー・ドウ」を発表してから、Fab Four=ザ・ビートルズの歴史は始まった。それから50年、半世紀。その存在はロックの歴史の中で、伝説を越えた未踏のものとなっている。

ザ・ビートルズについては、枚挙に暇がないほど語り尽くされている。自作曲の演奏スタイルは画期的だったし、R&Bをルーツにしたサウンドのオリジナリティ。レノン=マッカートニーのコンビが織り成す、天啓を受けたとしか思えない曲の数々。加えて、ジョージ、リンゴの個性。4人の出会いは神の仕業と思えるほどの出来事だった。

現在の基準で考えても、年間に2枚のアルバムを制作するスケジュールは、一方でコンサート活動を考えると超人的だし、しかも捨て曲どころか、その収録曲がすべて素晴らしいバンドなんてあり得ないものだ。バンドのデビュー期においては、それまでの溜め曲があり、ファーストアルバムは衝撃をもって迎えられ、問題は2枚目以降である。彼らは、1969年に「アビーロード」の録音で終わるまで、常に社会現象も含め、ロックのアイコンであり続けた。

そのような名曲の数々を、今回、よくあるトリビュートコンサートでなく、クラシックのアプローチで表現しようというのである。かつてバーンスタインが、彼らの音楽性の高さを見抜き、「バッハ以来の驚き」と述べたことは有名な話で、彼らの曲自体、ジャンルを超えた輝きを放っていた。その意味で、オーケストラ表現は、極めて自然であり、デビュー半世紀の今、あらためて名曲の数々に酔いしれて欲しいと思う。

とはいえ、バンドサウンドの雰囲気も少しは味わいたい方々にも、トリビュートバンドのTHE BEATROCKSがリアルサウンドを演奏してくれる。

皆さんの思い出の曲もあるでしょう。どうぞ、思い切り楽しんでいただければ、幸甚です。永遠のザ・ビートルズ。同じ時代を体験できた幸せをかみ締めたいと思う。

主催者

Cast Profile

[進行]

クリス・ペプラー (TV・ラジオ・パーソナリティ)

Chris Pepler

FM ラジオ局 J-WAVE が 1988 年に開局すると共に、ナビゲーターとして抜擢され、25 年間に渡り「TOKIO HOT 100」の DJ を務めている。

日本のミュージックマスターとして知られ、音楽、映画やスポーツなどエンターテイメントを中心に TV 番組、CM、ドラマ出演、ビッグセレブの来日記者会見やインタビュー、イベント MC など幅広く活躍中。



井田勝大 / 指揮

Katsuhiko Ida

鳥取県生まれ。東京学芸大学音楽科卒業、同大学院修了。2003 年から来日オペラ団体の公演に制作助手として携わり、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、東京のオペラの森などで小澤征爾、ズービン・メータのアシスタントを務める。同年 11 月、Kバレエカンパニー『白鳥の湖』公演においてデビューする。それ以降、Kバレエの多くの公演を指揮する。2009 年 4 月、C D「熊川哲也のくるみ割り人形」をリリース。

オーケストラでは東京フィルハーモニー交響楽団や大阪センチュリー交響楽団、東京シティフィルハーモニック管弦楽団などと共演。トランペットを田宮堅二、田中昭、山城宏樹に、指揮法を山本訓久、高階正光に師事。現在、シアターオーケストラ トーキョー指揮者。



シアターオーケストラ トーキョー / 管弦楽

Theater Orchestra Tokyo

2005 年秋、バレエを中心とした「劇場」を主な活動の場として編成されたオーケストラ。同年 11-12 月、熊川哲也 Kバレエカンパニーの『くるみ割り人形』公演での演奏が各方面より高く評価される。それ以降広く活動を展開し、2006 年より Kバレエカンパニーのすべての公演の演奏を務めている。2007 年 1 月、日本でのバレエ音楽指揮者の第一人者として活躍し、バレエ音楽に最も造詣の深い福田一雄が音楽監督に就任。劇場音楽への深い理解と意欲的な取り組みは常に注目を集めている。

バレエ公演に限らず、オペラ公演、学校音楽鑑賞会、合唱団との共演、レコーディングなど、多方面で活躍の場を広げている。楽団公式ホームページ (<http://www.theater-orchestra-tokyo.com/>)

特別出演

THE BEATROCKS

英国・Liverpool、Cavern Club に出演実績のあるメンバー 3 人に、2011 年 5 月、新たにサウスポールのベーシスト「Pottz」を加えて結成された THE BEATLES TRIBUTE BAND 『THE BEATROCKS』

その演奏力は日本はもとより、世界のビートルズファンから高い評価を得ていて、オーディエンスを THE BEATLES の疑似体験の世界に誘う事の出来るバンドである。

THE BEATROCKS

2013 1/29 (火) Bunkamura オーチャードホール

開場 18:30 開演 19:00 全席指定 7,800円 (税込)

※未就学児入場不可 ※ザ・ビートルズの出演はありません

[プレイガイド] ●e+(イープラス) <http://eplus.jp/beatles/> ●ローソンチケット 0570-084-003 [L39728] ●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:183-420]

●Bunkamuraチケットセンター 03-3477-9999 (10:00~17:30) <http://www.bunkamura.co.jp/online/>

[お問合せ] e+(イープラス) 0570-06-9939 (10:00~18:00)